



未来を夢見て Season3

2022/6/20 No. 149

徳は孤(こ)ならず必(かなら)ず隣(となり)あり

校内には、図書ボランティアさんに飾っていただいた七夕飾りもお目見えし、校内の掲示物も夏の装いに衣替えが始まりました。6月20日(月)、朝から真夏を思わせる暑さの中、泉ヶ岳の稜線も夏の風情を感じさせる1日となりました。今日は1時間目はもみじさん、その後、1年生、2年生、3年生の子どもたちが(2学級ずつではありますが)3年ぶりのプールでの授業に取り組みました。1年生では、安田先生が、子どもたちとプールの授業での約束を繰り返し伝えていました。どうしてもプールに行くと開放的な気分になってしまいます。安田先生は楽しいのとふざけるのは違うこと、プールサイドでは、余計なおしゃべりをしないことを子どもたちと繰り返し約束していました。



さて、先週は子どもたちのよい姿をたくさん見つけることができました。下写真左は6年生の子どもたちが1年生の子どもたちと一緒にスポーツテストの練習をしているところです。写真はボール投げの練習の場面、1年生の子どもたちも6年生のお兄さんやお姉さんにボールの投げ方を優しく教えていただき、とてもうれしそうに練習に取り組んでいました。また、下写真中は朝の「あいさつ運動」の様子です。宮床地区更生保護女性会の皆様が月に1度、通学路に立っていただいています。子どもたちの挨拶のよさ、特に目を見て挨拶をする子どもたちが多いことをとても褒めていただきました。



さて、タイトルは、先日の校長会議で上野教育長先生から紹介された論語の一説です。

この一説がなぜか頭から離れず、気になって、自宅に戻ってから調べて見ると、「徳ある人またはその行為は、孤立することなく、その感化を受けて追慕する人または追従する人の行為を生み出すことになる(コトバンクより)」と紹介されていました。なるほど、教育は「感化の営み」とはよく言ったものです。子どもたちは私たちが(見ていないようで)実は本当によく見ています。そして、なぜか、教えないことの方を勝手に身に付けてしまう、そんな経験、みなさんはお持ちではないですか?

(文責：手代木)